

高調波検出継電器検査成績書

納入先 _____

検査期日 年 月 日

工事番号 _____

形 式	M-2C35	定 格 電 圧	— V cont.	定 格 周 波 数	Hz
動 作 原 理	静 止 形	定 格 電 流	A cont.	動 作 表 示 器	
準 拠 規 格	JEC-174	整 定 範 囲	I : ~ A T : ~ s	素 子 型 式	MHH-35
制 御 電 圧	DC V			製 造 番 号	
第3調波以上検出用				器 具 番 号	

試 験 項 目 ・ 試 験 結 果 温度 _____ °C 湿度 _____ %

試 験 項 目	試 験 内 容	試 験 結 果
構 造 検 査	外観・構造・表示事項及び塗装	
絶 縁 抵 抗 試 験	回路一括・外箱間：10MΩ以上（規格値）	
耐 電 圧 試 験	回路一括・外箱間：2.0kV 60Hz 1分間	
特 性 試 験	（注）下記項目の試験を実施する。	

1. 制御電源開閉
制御電源の入切、低下、瞬断にて誤動作しないこと。

2. 動 作 値 （試験周波数： _____ Hz）

整 定	A	A	A	A	A	A
動 作 値	A	A	A	A	A	A
判定基準	各 整 定 値 の ± 1 0 % 以 内					

3. 動 作 時 間 （試験周波数： _____ Hz）
〔I 整定：最小， 入力：0 → 整定の200%〕

T 整定	最 小	最 大	判 定 基 準
	s	s	
動作時間	s	s	最大整定値の ±10%以内

4. 復 帰 時 間 （試験周波数： _____ Hz）
〔I 整定：最小， T 整定：最大， 入力：整定の200% → 0〕

復 帰 時 間	判 定 基 準
ms	300ms以内

5. 周波数特性 〔I 整定：最小〕 〈右端の（ ）内は試験周波数を示す。〉

- イ) 整定値の20倍の基本波を印加して動作しないこと。 (_____ Hz)
- ロ) 整定値の2.5倍の第2調波を印加して動作しないこと。 (_____ Hz)
- ハ) 第4調波を印加した時の最小動作値は、整定値の0.6~0.8倍の範囲となること (_____ Hz)

承認	作成